

## 2

## 地域の課題が見えてきました!

地域まちづくりプラン素案作成報告

2023年3月～2023年8月

2022年12月～2023年2月に羽沢横浜国大駅周辺の皆様のアンケートから抽出された15のキーワードを基に、住民の皆さんに集まつてもらい、3回の意見交換会で色々な意見を出してもらいました。2023年3月～8月に、その意見とアンケート結果を基に毎月の定例会で検討した結果、下記の21項目の地域課題が浮かび上がりました。

今後、この地域課題に対する解決策の立案、実現性、優先順位を検討し、実効性のある課題に絞り、「地域まちづくりプラン素案」にまとめ、住民の皆様のご意見を頂戴して原案をつくり、住民の皆様に承認をいただき、横浜市へ提出します。

## 1. 安心安全なまちを目指して

- ①大丸橋 ②バス停の安全 ③私道の公道化や舗装の促進
- ④夜を明るく ⑤防犯カメラの設置 ⑥ブロック塀の改善
- ⑦スクールゾーンの安全性向上 ⑧コミュニティバス
- ⑨一方通行化 ⑩駅への連絡路

## 2. 豊かな町並みや景観をつくる

- ①大池道路の電柱対策 ②緑化の促進と豊なまちづくり
- ③ゴミ問題 ④建設の事前協議

## 3. 多様な交流が生まれる地域

- ①居場所つくり ②子育てを応援する ③新住民との交流
- ④ベンチの設置 ⑤地域資源への理解を図る

## 4. 国大との連携を更に深める

- ①隣接しているメリット ②国大生の地域活動参加促進

## 羽沢横国まちづくりプラン作成スケジュール

複数回にわたって住民の方々への「意見収集」と、まちづくり協議会での「協議」を繰り返します。

令和4年度

令和5年度

令和6年度

## 意見収集

## 協議

## 意見収集

## 協議

## 意見収集

## 完成

アンケート調査・意見交換  
・住民アンケート実施  
・アンケート集計  
・キーワード意見交換

まちづくりプラン素案作成  
・「まちづくりプラン素案」を作成・住民へ印刷配布し意見を募集する  
・住民意見を基に「まちづくりプラン原案」を作成する  
・「まちづくりプラン原案」を印刷し住民へ配付する  
・「まちづくりプラン原案」の住民アンケートで住民の承認をいただく

まちづくりプラン素案作成  
・横浜市へ提出し横浜市の認定を得て、プランの実施スタート

## Q. 地域まちづくりプランって？

A. 地域住民が自分たちで地域の課題解決のための取り組みなどをまとめた計画のこと。街と行政がプランを共有することでこれからのまちづくりの指針になります！

参考：横浜市 HP

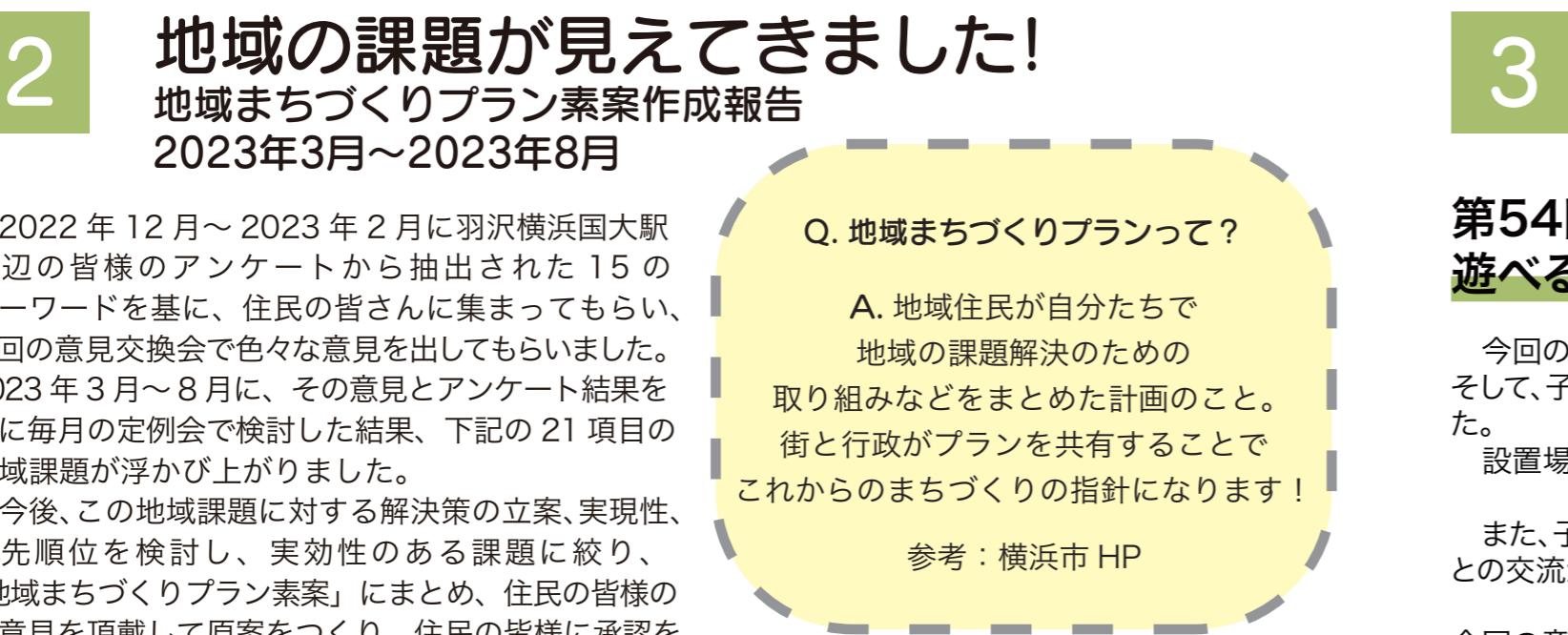


▲ サイン作りの例

◀ 電柱の立ち並ぶ大池道路



▲ 昨年度のワークショップの様子



## 3

## 遊べるイスをつくろう！

横浜国大ワークショップ報告

横浜市常盤台地域ケアプラザにて

第54回の様子

第54回 2023/05/20  
遊べるイスの場所決め

今回のワークショップでは「遊べるイス」をどこに設置するか、そして、子育てについて地域で何ができるかについて話し合いました。

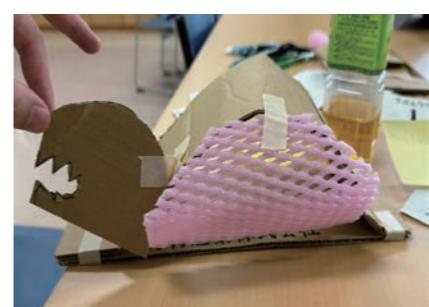
設置場所の候補として大学や地域の公園が人気でした。

また、子育ての課題については、子供が地域の大学生やお年寄りとの交流が活発になってほしいという意見が出ました。

今回の意見を参考に夏にかけて実際にイスを製作していきます！

横浜国立大学  
野外音楽堂模型・イラストで  
イスのデザインを考えました。

上星川小学校



住好的遊び場

第55回 2023/07/15  
イスのデザインを考えよう！

続いて7月のワークショップでは、具体的なイスのデザインを考えました。前回の場所決めから

- 1.住好的遊び場
- 2.横浜国立大学 野外音楽堂
- 3.上星川小学校

の3箇所に分かれて「遊べるイス」のアイデアを出していくしました。第一部では場所ごとにどのような遊びをしたいかについて、第二部ではさらに3つのチームに分かれて、模型やイラストを使って遊べるイスを形にしました。

最後に班ごとにアピールポイントを発表して皆さんで投票した結果、それぞれのイスの元となるデザインが決定しました。

今後は国大生を中心に詳細な図面を作り、次のワークショップで組み立て、次回のワークショップで色塗りとなります！

実際に街に設置されるのは9月中旬を予定しております。お楽しみに！

## 次回のワークショップ

第57回 イスの色塗りワークショップ 9/16(土)に開催予定です。

右の参加予約 QR コードからご予約できます。

詳しくはチラシ QR コードをご覧ください。

みなさんのご参加をお待ちしております！

(※第56回 イスづくりワークショップは8/26に開催済みです。)

参加予約はこち



次回のチラシ



## まちにサインを！ サイン製作・設置グループ活動報告

### 現在までの活動

サイン製作・設置グループでは、これまでの検討内容を整理し具体化する方向で進めています。その第一弾として“地図付き案内サイン”的試作を横浜国大の学生に、8月末完成を目指すことにいたしました。

設置場所については、タワーマンションと駅前広場プロムナードが工事中であり、工事終了後に最終決定をすることになりました。

“地図付き案内サイン”は1ヶ所とし、補完を目的とした“スポットサイン”を複数ヶ所設置することで現在検討中です。

### 案内サインの設置目的

- ・駅を利用する来訪者向けの道案内や地域の魅力紹介。
- ・地域の住民向けには、地域の魅力再発見や地域への愛着を育むことを目的とする。
- ・防災関連施設やバリアフリー・危険な場所等の周知を狙いとする。

### 具体的な表示内容概要

- ・対象区域は、羽沢横浜国大駅を中心として半径1kmを目安とする。
- ・表示対象施設は、旅客・教育・文化・商業・医療・福祉・特産品・農産物直売所等々…
- ・散歩コース・ジョギングコース・坂や道の名称・バス停など。

駅周辺の工事進捗に合わせて、“案内サイン”設置状況が具体化することを期待願います。

## 5 「公園坂」と「桜道橋」について

「公園坂」は国道16号線の峰岡三丁目にある「常盤園下」のバス停から常盤公園入口に通じる坂道で、かつてはここには桜並木が連なり園を訪ねる人々で賑わったといいます。現在は一方通行の狭い道路であり、かつて桜が植えられていた道の両側には家が建て並んでいます。ここからの見晴らしがすばらしく富士山が望めたことから「富士見坂」とも呼ばれていました。

「桜道橋」は公園坂の中央に架けられた橋であり、昭和28年に横浜新道の工事と共に行政道路の建設が行われた結果、V字型に掘削され分割された2つの峰を繋げるために設けられたのです。そこにかつて栄えた公園坂の桜並木を想起させる「桜道橋」という名がつけられました。

桜道橋から公園坂へ



丘を削って通る  
行政道路



### 編集後記

ワークショップでの椅子つくり第2弾が始まります。今回のテーマは遊べる椅子をつくろう！です。皆様の参加をお待ちしています。

発行:羽沢横浜国大駅周辺 045-339-5701(常盤台地域ケアプラザ) 2023年8月

1

## リビオタワー羽沢横浜国大もうすぐ竣工 いよいよ「駅前」の風格をまといます！



工事中のリビオタワー羽沢横浜国大（2023年8月2日撮影）

23F

住宅  
アクティブラウンジ（5F）

5F

商業店舗（予定）  
医療施設（予定）

4F

商業店舗（予定）  
大学活動支援施設（予定）  
農業活動支援施設（予定）  
屋上庭園

3F

商業店舗（予定）  
子育て支援施設（予定）

2F

商業店舗（予定）  
住宅共用部

1F

公式HPを参考に作成したフロア概念図

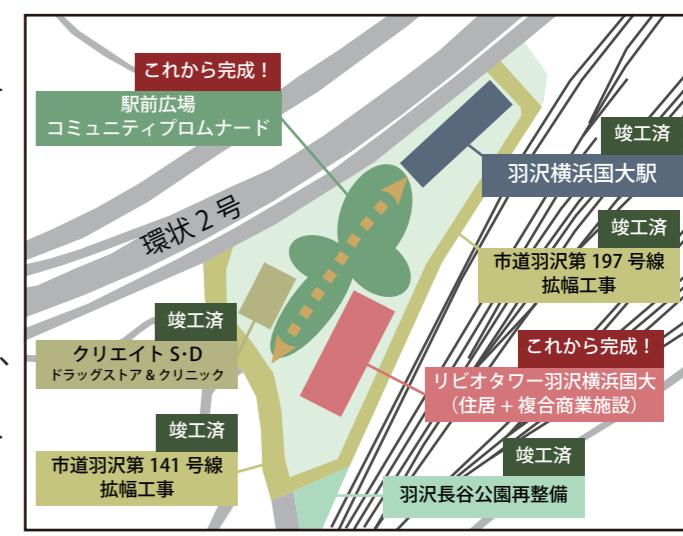
現在工事中の「リビオタワー羽沢横浜国大」もいよいよ最上階まで建ち上がり、完成像がイメージできるようになってきました。日鉄興和不動産株式会社、三菱地所レジデンス株式会社が昨年発表したプレスリリースによると、竣工は今年11月、入居は来年2月を予定しているとのことです。

## タワーマンションができるだけではありません！

駅前広場も整備され、緑あふれる歩行者空間に

横浜市都市計画マスタープラン全体構想において羽沢地区は「都心部（新横浜都心）」の一角に位置付けられ、駅前の道路や買い物をする場所の整備などを促進するとともに、周辺の農地、樹林地などの恵まれた自然的環境と共生することとされています。それを元にこれまで道路の拡幅や公園の整備、医療機関、ドラッグストアの整備がなされました。

今後はタワーマンションに加えて駅前広場と、植栽、ベンチ、デジタルサイネージなどを配置した歩行者空間が整備され、駅から道路や信号を挟まずフラットにつながり、安心して歩ける空間として整備されていくことです。



全体の計画イメージ